

令和7年度第2回北薩地区小・中・義務教育学校校長研修会

令和7年7月24日(木)

1 目的	県及び地区教育行政の重点施策及び努力事項等について理解を深めるとともに、学校経営上の課題を協議し、その解決に資する。	
2 会場	風テラスあくね（阿久根市）	
3 出席者	各小・中・義務教育学校校長 各市町教育委員会教育長、学校教育課長、指導主事 等	
4 内容	(1) 開会の挨拶及び所長講話 所長 (2) 教育事務所の重点施策等説明 ア 総務課 総務課長 イ 管理課 管理課長 ウ 指導課 指導課各指導主事 <昼食・休憩>	(3) 事例発表 阿久根市立三笠中学校 徳重 忠彦 校長 (4) 研究協議「授業改善に向けた校内研修の活性化」 (5) まとめと指導 指導課長 (6) 講演「義務教育行政の当面する課題等について」 県教育庁義務教育課長 (7) 閉会の挨拶 薩摩川内市教育委員会教育長

5 様子



講演 県教育庁義務教育課長



事例発表
阿久根市立三笠中学校 徳重 忠彦 校長



研究協議
「授業改善に向けた校内研修の活性化」



閉会の挨拶
薩摩川内市教育委員会教育長

- 6 感想・意見 研修会の内容について（満足 87%，概ね満足 13%，やや不満足 0%，不満 0%）
- ・ 所長講話の中で、「18 歳意識調査からの考察」がとても印象的であった。その考察を職員と共有し、本校の実態を踏まえながら教育活動に生かしていきたい。
 - ・ 学力向上対策に本気で取り組みたい。「プラス5ポイント」の目標に届くような授業改善と家庭学習の実施，教師の見届けについて，職員研修でも取り組んでいきたい。
 - ・ 事例発表では，児童生徒の学び同様，イントロダクションとリフレクションを，私たちも大切にしていきたいことが，学校の課題解決に向けて効果的であることを学んだ。
 - ・ 講演から，学力向上について中学校に課題があるように見えるが，小学校段階でのつまずきに起因することがあるという視点が大切であることを学んだ。教科の意義を正しく理解し，子供に即した授業デザインを適切に構想することが必要であることを本校職員と共有したい。
 - ・ 研究協議では，前回と同グループで情報交換することで，各学校の取組に対する変容を知ることができた。